

みんなで守ろう文化財 第五十二回文化財防火デー

「文化財防火デー」をご存じですか？国宝の法隆寺金堂壁画が昭和二十四年一月二十六日に焼損するという痛ましい事故が発生しました。こうした惨劇を繰り返さないために一月二十六日を「文化財防火デー」と定め、毎年この日を中心に全国で文化財防火運動が展開されています。市では、一月二十九日に附馬牛町大出の早池峰神社と宮守町下宮守の塚沢神社の二カ所ので、文化財防火訓練を実施しました。早池峰神社には県指定天然記



早池峰神社で行われた消防団による放水訓練

念物の「夫婦イチイ」、市指定有形文化財の「神門」「本殿・拝殿」「中門」「太刀」などがあります。塚沢神社には元禄四年（一六九一年）に建立されて弘化三年（一八四六年）に再建された「地藏堂（本殿）」と、その中に「本尊」「天井絵」「額類」などがあり、どちらも地元の人たちが守り続けてきた貴重な文化財です。早池峰神社では午前七時三十分北側山林から火災が発生したという想定で、地元消防団や婦人消防協力隊など約六十人が参加し、放水訓練や消火器を使った初期消火訓練などを行いました。塚沢神社では午前九時から地元消防団や婦人消防協力隊など約三十人が参加し、重要品の持ち出し訓練やホース延長訓練などを行いました。どちらの神社も初めての本格的な防火訓練でしたので、万が一の火災から文化財を守る体制を確認することができました。市内には、このほかにも多くの文化財があります。わたしたちの貴重な財産である文化財を、みんなが火災から守りましょう。



県指定有形文化財
所在地 小友町
所有者 常楽寺

積迦涅槃図

積迦涅槃図は、積迦が亡くなったときの情景を描いたもので、古くから寺院の涅槃会（積迦の命日である二月十五日に行う集会）の本尊として祭られています。積迦涅槃図には、積迦が亡くなったときの様子を描いたものと、積迦が亡くなる前後の事跡を描いた八相涅槃図との二種類に大別され、さらに形式も二種類に分類されます。

遠野風土記

横長または正方形に近い構図をとる第一形式と縦長の形式をとる第二形式があります。第一形式は一般的に平安時代のもの

が多く、第二形式は鎌倉時代以降のもので、この涅槃図は第二形式で、応永二十七年（一四七〇年）の作品です。絹に描かれた画面長は一八〇・一センチ、幅一〇〇・三センチあり、箱書によると永禄八年（一五六五年）に常楽寺に寄進され、明和六年（一七六九年）に改装したことが分かります。縦長の構図には積迦が亡くなった場所とされている沙羅双樹が描かれ、積迦の周りに菩薩や羅漢、天人や俗人、さらには多くの動物たちが集まり嘆き悲しむ様子を描いています。左上には幼いころに亡くなった積迦の母、麻耶夫人の一行が天界から雲に乗って降下してくる姿が描かれています。どれも同じような絵柄が描かれ、製作時期の不明な物が多い涅槃図の中にあつて、この図は絵柄や形式から室町時代の作と分かる貴重な作品です。

市長 琥珀色のまちづくり

琥珀色のまちづくり

先日、県職員として最後の勤務地となった久慈市の市民団体からお招きをいただき、久しぶりに旧交を温めてきました。久慈市で過ごした一年八カ月は、さまざまな出会いがあり、新鮮な感動の毎日でした。あれからすでに四年が経過しましたが、皆さんの地域への熱い想い、ごだわりは相変わらず健在でした。

久慈地域は日本でも唯一ともいわれる「琥珀」の産地です。講演資料には、次のように記されています。「時間を閉じ込め美しく輝く琥珀のように、古き良き伝統を今に伝え新たに磨きあげることで、さまざまな出会い（魅力）を持ち、人に感動を与えるまちづくりを……」合併後のまちづくりにとつて本心に大事にしなければならぬことが、この言葉に表現されていると思いました。


地域と伝統を大切にしながら市民の皆さんとともに、新・遠野市として琥珀色に輝くまちづくりを、想いを新たにしています。（本田敏秋）

3月行事予定

- ◇第30回市シルバー室内競技大会 スポーツ部門 7日(火)午前10時 市民体育館
- ◇東北ツーリズム大学3月市民公開講座 12日(木)午前10時 たかむろ水光園
- ◇教育委員会定例会 16日(木)午後1時30分 市民センター第2会議室
- ◇環境フォーラムin遠野 21日(火)午後1時 あえりあ遠野交流ホール
- ◇映画「待合室」上映会 25日(土)午前10時30分上映、午後2時上映、午後7時上映、26日(日)午前10時30分上映、午後2時上映 市民センター大ホール

シリーズ 3 虫の世界

コクワガタ クワガタムシ科



ある日の朝、自宅の玄関前にいました。クワガタの種類はいろいろあり、頭の先の大あごの形で区別されます。コクワガタの体長（大あごを除いた部分）は、オスで約2センチから4センチほどです。広葉樹の朽ち木の中で数年間過ごしてから羽化します。成虫のまま年を越し、5月から8月に出現します。幼虫期間を加えると、ずいぶん長生きな虫です。

◎分布 日本全土
原色昆虫図鑑(小学館) (新町・時田克夫)

二〇〇五年七月 新町で撮影

図書館・博物館だより

☎ 62-2340

- ◆ **◆ 新着図書**
- ◆ **◆ 一般向け**
- ▽春朗合わせ鏡（高橋克彦）▽魔女の笑窪（大沢在昌）▽アクアポリスQ（津原泰水）▽讃歌（篠田節子）▽英雄先生（東直己）▽道三堀のさくら（山本一力）▽パリよ、こんにちは（林真理子ほか）▽わくらば日記（朱川湊人）▽女郎蜘蛛（栗本薫）▽知恵伊豆と呼ばれた男（中村彰彦）
- ◆ **◆ 子ども向け**
- ▽三つの願い（デボラ・エリス）▽国立科学博物館（佐藤広基）▽ソフトボールをはじめよう（遠藤則男）▽つな引きのお祭り（北村皆雄）▽ラモーナ、明日へ（ペバリー・クリアリー）▽絵くんとことばくん（天野祐吉）▽ゆきがやんだあとで…（三木卓）▽すてきなおうち（マーガレット・ワイズ・ブラウニング）▽風のティビー（ポール・ゴッブル）▽ゴリラのりらちゃん（神沢利子）
- ◆ **◆ 催し物案内**
- ◆ **◆ 子ども映画会**▽4月1日(土)午前10時30分▽図書館視聴覚ホール
- ◆ **◆ 移動図書館**
- ▽10日IIアパレル・馬の里・上郷児童館▽14日II土淵町▽15日II青笹町▽16日II上郷町▽22日IITKR・YDK・石上の園▽23日IISMC▽24日II達曾部・鱒沢地区▽28日II宮守地区▽4月4日II小友・鱒沢地区▽5日II綾織町▽6日II松崎町▽7日II附馬牛町
- ◆ **◆ 寄贈者（敬称略）**
- ▽鈴木南水▽山尾幸司▽堀合光男▽菊池秀夫▽佐々木セツ子▽細越弦二郎▽佐々木孝▽旧宮守村議会▽村上睦子▽青柳悟
- ◆ **◆ 休館日**
- ▽図書館II13日、20日、27日、31日、4月3日
- ▽博物館II13日、20日、27日
- ◆ **◆ 図書館の開館時間を延長します**
- ▽3月末までの毎週金曜日、開館時間を1時間延長し、午後6時まで開館します。

おすすめしたい本

心優しい普通の人々の「心の闇」にスポットを当てた短編集。恨みやしつとを抱えた人々を描きながら、生きる希望を見出していく著者のまっすぐな姿勢が伝わる作品です。

「おやすみ、こわい夢を見ないように」 角田光代 著

「ぜったいに ついていけないよ」 嶋崎政男 著

もし学校の帰り道、知らない大人に声を掛けられたら…。誘拐や連れ去りから子どもが身を守るために、どう考え、行動すれば良いのかを分かりやすく伝える本です。